

消防団第一分団 念願の3位

可搬ポンプ操法大会 2024年5月26日(日)実施

新緑の風爽やかな5月26日(日)、田園調布消防団第1分団は、「可搬ポンプ操法大会」にて40年振りの3位入賞いたしました。これは、地域の防災リーダーとしてわが分団が一丸となり、昼夜訓練に訓練を重ねてきた結

果であると共に、地域の皆様の多大なるご理解ご協力の賜物であります。分団員一同心より感謝申し上げます。これからも地域の防災リーダーとして有事に備え、訓練を重ねて参りたいと思います。(第1分団長小山誠司)



◇受賞報告◇

【令和6年度 自治会・町会
退任会長感謝状受賞者】

大口 喜一郎 氏 調布大塚自治会

【令和6年度 自治会・町会役員
永年在職者感謝状受賞者】

宮坂 きよみ 氏 調布大塚自治会
佐久間 雅章 氏 調布大塚自治会

西山 広高 氏 調布大塚自治会
利根川 文子 氏 田園調布一丁目清交会
細川 淑子 氏 田園調布一丁目清交会
武井 義則 氏 田園調布一丁目清交会
辻川 藤子 氏 田園調布親睦会
須貝 奈津子 氏 田園調布親睦会
栗山 和之 氏 田園調布二丁目自治会
吉田 富一 氏 田園調布二丁目自治会
田中 至 氏 田園調布協和会

一般社団法人 田園調布会

町会交流プラザ (続)

【第19回：7月27日(土)】

城谷 まもる様 日本腹話術協会理事長
「楽しい腹話術」

城谷さんと相棒のお人形「ゴローちゃん」の腹話術です。城谷さんと人形の掛け合いに、場内は笑いの渦に。10人出席の子ども達は興味を持って見つめ、合いの手まで入りました。

城谷さんの腹話術の公演回数は4871回。上演回数日本一で認定証を授与されています。浅草東洋館での講演を行うとともに、被災地の慰問講演を続けているそうです。

【第20回：8月25日(日)】

本田幸彦様 田園調布小学校校長
「田園調布小学校100周年に寄せて」
— 田園調布会100周年記念行事 —
(田園調布会事務局 ☎ 3721-2741)

第17回田園調布 グリーンフェスタ (予告)

例年10月に開催されるグリーンフェスタですが、せせらぎ館体育施設オープン後の下記日程で行います。

● 2025年2月16日(日)

わがまち情報 (10月～12月)

2024年

10月20日(日) 予定

秋のフリーマーケット

(多摩川園商栄会+協和会)

11月15(金)・16(土) 展覧会 (予定)

(田園調布小学校)

子どもたちの川柳

田園調布中学校 二年生が国語の時間に創作した川柳

友といて 「妹ですか？」と 言われがち
通話して ミュート忘れて 恥さらす
はめられて 伸びていくヤツ 縮むヤツ

富塚 由宇
中島 大志
小関 志輔

訃報

編集委員 児嶋 和歌子 様
一般社団法人 田園調布会

本編集委員 児嶋 和歌子様におかれましては 2024(令和6)年8月11日 急逝されました。1935年生まれ、(宗)出雲大社米子分院責任役員、鳥取県婦人防衛協力会会長などを歴任されていました。

一般社団法人 田園調布会では理事の職にあり、100周年郷土誌(仮称)編集長として現在制作中の中心を務められました。

生前のご活躍に感謝するとともに、故人の安らかなお眠りをお祈りいたします。

(編集委員会)



でんえん
わがまちの HP



第136号
令和6年10月
October, 2024
季刊 Quarterly

でんえん

Mytown Den-en-chofu わがまち

発行 地域力推進
田園調布地区委員会
編集 だんえんわがまち編集委員会
事務局 田園調布特別出張所
大田区田園調布1-30-1
TEL 03-3721-4261
http://www.city.ota.tokyo.jp/

通称 せせらぎアリーナ* (体育施設) 竣工 11月17日オープンへ

せせらぎ公園に一昨年秋から建設していましたが(通称)せせらぎアリーナ*が7月末に竣工し、11月17日(日)にもオープンの予定です。せせらぎ館(2020年)、田園調布特別出張所移転(2021年)と共に重要な施設が公園に揃いました。[*正式名称: 田園調布せせらぎ館(体育施設)]



長く鋼板扉に囲まれていた体育施設が姿を現しました。

設計は隈研吾氏主宰の建築都市設計事務所です。というのも当初案(2016年12月)では総合文化施設(仮題)としてスポーツ関連施設も含めてプロポーザル募集されたものです。

体育室の構成

体育室は平面 23.4 m × 34.2 m (約 800㎡)。全面を使用するとバスケット・バレー・フッ



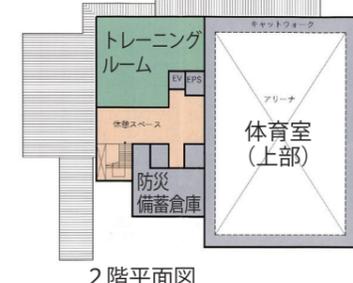
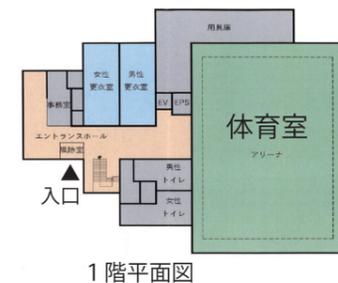
体育室内部。右側の窓からは公園の緑が見える

トサルが1面で競技でき、バドミントンは4コート、卓球は6コート以上を同時に利用できます。

2階のトレーニングルーム(190㎡)には各種運動器具が備えられ、器具が空いていれば予約なしで随時利用できます。

防災施設

もう一つの用途は「防災機能」です。近年の豪雨を考慮し地盤を1mかさ上げしています。災害時、小中学校の避難所が満席になった場合、補完避難所として利用されます。



2階トレーニングルームの完成予想図
予約なしで随時利用が可能



写真右の部屋がトレーニングルーム
地区防災備蓄倉庫 90㎡が2階に設置されています。

体育室、屋外の広場とともに多様な用途で多くの方に有効に利用されることを期待します。
(編集委員長 出口清孝)

予約は「うぐいすネット」で既にはじまっており、詳細は右記二次元コードより、大田区のホームページを参照下さい。



Den Den フェスティバル 6月2日(日)



話を面白く聞かせて笑わせ、「落ち」で終わる話芸、それが落語です。扇子や手ぬぐいを小道具に、そばを美味しく食べる「動作」を伴って聞き手を話題に引込みます。
 楽舞家恋さん「反対陣」では、人力車の車夫の動作を、演壇から落ちんばかりに演じていました。
 包括支援センター担当者から落語は話だけでなく動きも堪能して下さいとのアナウンス通り、ダイナミックな動きの落語を体験しました。(K)

本誌でもお伝えしました盆踊りソング「Den Den 音頭」、本番の夏を前に人の多く集まる浅間神社のお祭りに時期を合わせ、振付講習を目的に Den Den フェスティバルを実施しました。

6月2日(日)、場所は田園調布せせらぎ館、田園調布協和会が主催し、田園調布二丁目自治会が実施を担当したものです。

② 当日開始前に会場が満員になる程の盛況で、バルーンアートのデモンストレーションでは、お子さんへのバルーンがプレゼントされました。

講習は約40分を2回実施し、振り付け指導の下、田園調布の春夏秋冬をテーマとした DenDen

音頭を輪になって楽しく踊りました。家族連れ、田園調布中学の生徒、ちびっ子たちなど浴衣の参加者も多く、DenDen 音頭のロックバージョンではノリノリで自己流の振り付けも取り入れて楽しんでいました。

講習の間にミニコンサートが催され、田園調布小学校 PTA の友人仲間の歌も披露されました。

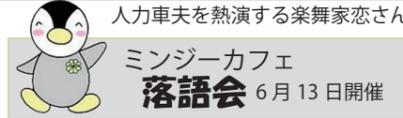
講習2回目に大雨に見舞われましたが、田園調布中学の生徒たちが中心になって盛り上げてくれ、帰りそびれた女生徒たちも楽しそうに談笑していました。

このフェスティバルが地域交流の良い催しとなりました。

(田園調布二丁目自治会 平山智恵)



人力車夫を熱演する楽舞家恋さん



6月13日開催

出陣子が聞こえ気分は盛り上がり、落語研究会同窓生3名による「幫間腹(たいこもち)」「反対陣(はんたいくるま)」「大工調べ」の3席を聞きました。話術に惹き込まれ「笑い」は頭と心と体を元気にし、ストレス発散となりました。

ミンジーカフェは毎月第2木曜日開催。内容は歌声サロン・詐欺予防講座・脳トレなど。フレイル予防になります、ご参加をお待ちしています。

(民生委員児童委員 染谷優子)

2024年6月9日より
歩行者天国【解除】



注意看板は7月末まで設置しました

「いつからですか？」多摩川駅前通り歩行者天国の解除日を度々聞かれましたが、6月9日(日)より解除実施となりました。

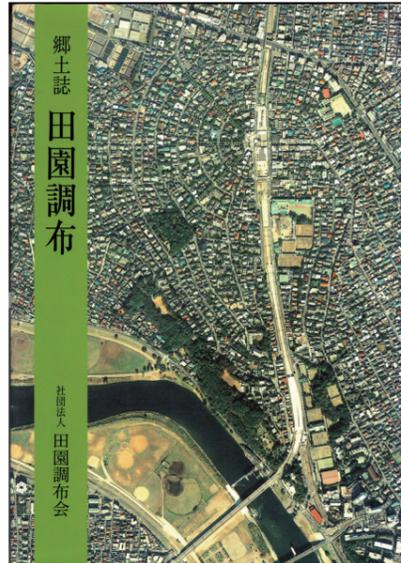
人の多く集まるお祭り時にポスターと表示看板を設置して広報に務め、お祭り終了の翌週から実施しました。幸い、事故もなく今日に至っています。

車両速度抑制のため、警察署他と協議していく予定です。

(田園調布協和会 山本詔三)

「100周年郷土誌」出版を見据えて 9町会で座談会も

「郷土誌田園調布」が2000年に発行されて四半世紀も経つと、世の中は随分と変わります。一般社団法人田園調布会が100周年を迎えるのに合せ(本誌133号)、その第2弾というべき「(仮称)100周年郷土誌 田園調布」を執筆すべく編集委員会を組織して進めています。



2000年12月発行 郷土誌 田園調布 編集・発行：社団法人(当時)田園調布会/中央公論事業出版/B5版 369頁/定価 ¥3,000.

仮称 100周年郷土誌田園調布

前作(左図)は経済地理学を専門とする江波戸昭明治大学教授(当時、2012年逝去)が多くを執筆編集した大作でした。今回、続編とも言うべき出版物は、その後20数年の変化・発展、複数の専門家の寄稿、将来の田園調布などを意図したもので、前作ほどのボリュームはありませんが、同様な体裁にしようとしています。刊行目標は2025年11月、概要は以下の通りです。

- まえがき
- 第1部 田園調布のあゆみ
- 第2部 専門分野からみた田園調布
- 第3部 田園調布会と8町会

田園調布小学校 7月22日(月)~24日(水)
「わくわくスクール」



オリジナルトートバッグを作ろう!!「かわいく仕上げることでうれしかった。」

田園調布小学校では、夏休みに入っすぐの7月22日(月)から24日(水)の3日間、毎年恒例の「わくわくスクール」が開催されました。

わくわくスクールとは、学校・学校支援地域本部「でんしょう応援団」・PTA 共催による3日間の講座で、いろいろな体験を通して子どもたちの興味、好奇心を育てることを目的としています。

今年も小学校の先生方、地域の関係者、保護者による、のべ37

コマのバラエティ豊かな講座が開催されました。

建て替え工事が始まる直前の校舎で、多くの子どもたちのにぎやかな声と笑顔が見られる3日間となりました。

(田園調布小学校 PTA)



車イス介護、高齢者疑似体験教室「車イスの人のふだんの生活が大変だと思った。」

募集

100周年郷土誌作成に関連して田園調布地区の古い貴重な写真や資料などを募集します。

1. 写真
 - (1) 写真(プリント)
 - (2) 写真(電子情報): 1回の送信には5ギガバイトを越えないようにお願いします。
2. 資料・史料(文書類)

提出先: 田園調布会事務局
メール: sasaki@denenchofukai.jp

締切: 2025年7月末

・提出したのものには、氏名・住所、年代などを明示して下さい。プリント写真などは提出者にお返しします。

一般社団法人 田園調布会
☎(03)3721-2741

第4部 百年後の田園調布を夢見て

9町会 会長との座談会

特徴的なのは、田園調布会だけでなく田園調布全体に広げることです。その一環として9町会の会長で座談会を9月18日(水)に予定しています。

さらに2024年と2025年、イベントの企画も検討しています。
(一社 田園調布会 児嶋和歌子)

☆☆☆☆

講座の一例 * ()内は講座主催者

- ・わくわくフットサル(木村副校長先生ほか先生方)
- ・吹奏楽 楽器演奏体験(田園調布中学校吹奏楽部)
- ・防災工作教室(田園調布二丁目自治会)
- ・写真で体験! 世界一周の旅(保護者)
- ・オリジナルトートバッグを作ろう!! (読み聞かせサークル)
- ・ゆらゆらゆるるモビールをつくろう(田園調布せせらぎ公園・せせらぎ館)
- ・わくわく図工(PTA 役員会)
- ・車イス介護、高齢者疑似体験教室(大田区地域包括支援センター田園調布)

多摩川台公園のラジオ体操

猛暑も去り、今年も残り3ヶ月。やっと気持ち良く運動ができる季節になりました。

いまでも、ここ田園調布地区には近隣の方々が多摩川台公園にラジオを持ち寄り、早朝6時30分から10分間ラジオ体操を行っています。

子供から大人までラジオ体操は知っていますが、ラジオ体操第一だけでも、意識して身体を動かせば約650の筋肉組織のうち400余りの随意筋が使えることはあまり知られていません。

【多摩川台公園では】

- ・年中無休。元旦でも休まず、

熱心な方は雨の日でも東屋までいらしています。
 ・ラジオ体操スタンプ帳配布。毎日、押印してくれます。
 ・春夏秋冬、季節の動植物の観察も宜しいのでは?

【使いましょう随意筋】
 * 随意筋とは自分の意志によって動かせる筋肉のことです。

(田園調布親睦会 三輪順子)

